

甲斐黄金村・ 湯之奥金山博物館だより

国指定史跡・甲斐金山遺跡一中山金山

No.115

2026.6.1



ゆすれ!ながせ!つかみとれ! 子どもも大人も夢中になる2日間

まもなく夏がやってきます。博物館の夏といったら「砂金掘り大会」&「砂金甲子園! 東西中高砂金掘り大会」。今年は7月25日(土)に砂金掘り大会、翌日26日(日)に砂金甲子園を開催します。砂金掘りに熱い思いを持った参加者が毎年、全国から下部温泉の地にやってくる当館最大のイベントです。あらかじめ決まった量の砂に混ざった砂金をいかに早く、正確に汰りわけられるか。鉱山作業のひとつ「汰りわけ」に親しんでもらおうと、スポーツ競技・イベント化したものです。両大会とも20回を超え、長らく多くの方に楽しんでいただいています。参加申込は6月1日(月)より博物館代表メールにて受付が始まっています。出場してみるのもよし、応援・見学に来るのもよし、多くの皆様のご来場をお待ちしています。

▶イベント詳細については6~7ページを参照

下部温泉と熊野神社について

甲斐黄金村・湯之奥金山博物館 館長 信藤祐仁

下部温泉

身延町下部地区にある甲斐国屈指の古い歴史を持つ温泉地。源泉は32度と低温ながら、傷病に効能がある温泉地として知られている。平安時代初期に熊野神の出現により温泉が湧出したと下部温泉のルーツを『甲斐国志』は紹介している。(後述)鎌倉時代の日蓮書状(日蓮聖人遺文)には「しもへのゆのついでと申者を、あまたをひかえて候」と下部温泉の湯治のついでに身延山に立ち寄ったという大勢の者を、けしからんとして追い返している。南北朝時代には「塩山抜隊和尚語録」中に「到甲州下部温泉次作三頌」とあり、室町時代に「一蓮寺過去帳」にも供養を行った「功阿弥陀仏」の在所地に「下部湯」とあるのがみえる。

天正6年(1578)と推定される穴山信君(のぶただ)朱印状では、風雨のために流損した「下部湯屋」を、湯中の人足を集めて再興するように佐野治郎右衛門尉に命じており、当時は下部温泉が穴山氏の管理下に置かれていた。

『下部町誌』には「人皇五十四代仁明天皇の承和三年(836)、甲斐国主藤原貞雄二男修理太夫正信疥癬を病み川合の郷知温辺の湯をお訪ねになり入浴してたちまち全治す。その夜丑の上刻頃枕元に神霊が現れ「我は熊野権現なり。汝温泉より未申の方へ湯の保護神として我を祀るべし」と。霊夢覚めて驚き入りこれによって熊野三社大権現を祀り神殿並びに拝殿を建立す。後堀河天皇の寛治年度甲斐源氏新羅三郎義光公巨摩郡十谷村のあたり源氏岳に御在城中、戦時兵士の深手浅手切疵打身等を受けたる者入浴して三日に全治するので義光公以来武田氏歴代、傷病兵の隠し湯として著名である。寛政十一年には本

殿屋根を檜皮葺に葺き替え、昭和四十八年四月一日本殿及び棟札と制札を町の文化財に指定されて今日に至る。毎年五月十四日かくし湯祭りの一環として松葉杖供養祭が行われている。」と記されている。

古くからの温泉は低温であるが、平成18年に51度の熱い源泉の分湯が開始された。温泉療法医がすすめる「日本の名湯100選」に選ばれ、環境大臣が温泉法に基づいて指定する「国民保養温泉地」にも指定されている。



信玄(公)の隠し湯

甲斐や信濃などかつての武田領国内に存在する温泉地を「信玄(公)の隠し湯」と称されることも多い。武田信玄自身やその家臣たちが戦いで傷病を湯治させ、傷を入浴治療した温泉として伝えられている。信玄と温泉の関係を伝える確実な史料は、永禄4年(1561)河浦温泉の湯屋造営を勧進によって賄うことを恵林寺に認めた朱印状だけである。山梨市三富の川浦温泉は、恵林寺領内にあって寺で営まれた温泉であり、その湯屋造営についての費用についての指示内容である。甲府の湯村温泉は『甲陽軍鑑』に上田原の戦い・塩尻峠の戦いで負傷した信玄が傷をいやした島の湯のことが記されている。

信玄が鉾山開発に際して発見されたとか(乗鞍高原温泉)、川中島の戦いの負傷兵のために

設けられた(洪温泉、中尾山温泉)などといった説明がつけられることも多く、負傷兵の実態を敵国に察知されないように秘湯としたとも伝わっている。しかし、温泉が隠された明確な形跡はない。武田信玄の隠し湯と称されるようになるのは、湯治客誘致のための宣伝文句といったところであり、昭和4年(1929)発行の『富里村郷土誌』の使用事例が古いものである。富里村は身延町下部地区の旧村名で、下部温泉の由来を説明する中で「信玄その戦傷武士をして療養せしめたりしかば俗に『信玄公隠し湯』の名あり」と記している。

徳川家康も入浴したといい、江戸時代には各地からの湯治客も多く「金瘡、折損、外傷ノ人入浴スレバ立ドコロニ験アリ」と甲斐国志には記録されている。早川町奈良田にある西山温泉は、穴山信友が天文22年(1553)湯治に訪れており、その際地元で手厚い奉公がされたので、棟別役が免除されている。戦国時代には戦が繰り返され、その合戦の折に刀や槍による外傷も絶えなかったと思われる。それらの戦傷武士を湯治療養させる湯屋を伴う温泉も、確実に存在していたことは確かである。記録には残らないもしくは残りにくい温泉の入浴療養が、後世になって「信玄公の隠し湯」伝説として集客のキャッチフレーズに採用されるようになったのではないだろうか。

熊野神社

熊野神社は、別称を湯権現または温泉宮と呼ばれた下部温泉の原点となる神社である。『甲斐国志』には、「熊野権現(下部村)社記ニ承和三丙辰年、熊野ノ神此ノ処ニ出現シ給ヒ温泉湧出ス故ニ温泉宮ト別号シ奉ル。修理大夫姓名欠ク造営ス。天正二(1574)年甲戌年穴山信君亦建立シテ神領一貫三百文寄附シ禁勝ヲ掲グ。天正壬午ノ乱後神祖此ノ温泉ニ御入浴アリテ制札等下シ賜ハルト云フ神主依田近江」とある。

『甲斐茶(茗)話』は江戸時代中期以降に編纂された甲斐国の地誌である。『甲州噺』と重複する部分もあるが、『甲斐国志』に先行する悉皆的な地誌として新知見も多い。註1



『甲斐茶話』七十二には下部村熊野権現之事

八代郡東河内領下部村熊野大権現は人皇ノ五拾四代仁明天皇の遠宇承知三丙辰年御鎮座ノ御手洗水に温泉涌出近国不及湯也、神社ノ草創は修理太夫正信姓名不詳其後天正二甲戌年領ノ主穴山伊豆守入道梅雪再建大権現様竹千代ノ君にて渡らせ給う時入湯被遊たるより申傳あり、其時々ノ奉納扇として墨骨の扇子今中啓と申也、今はノ骨斗箱に入神の前にあり



熊野神社は温泉の神様としても知られており、別名の湯屋権現(ゆやごんげん)は「熊野」を音読みすると「ゆや」となって同じになる。熊野三社のある紀伊半島も温泉が多数存在し、温泉の神様として熊野神社を勧請し湯場の鎮守として祀ったものであろう。

註1 信藤祐仁『甲斐国茶話』の「金山」と「甲金」について 甲斐黄金村・湯之奥金山博物館研究紀要16 甲斐黄金村・湯之奥金山博物館 2024

■ 調査研究活動01 4/12㊥ 令和8年度 第1回調査検討委員会

今年度1回目の湯之奥金山遺跡等調査検討委員会をオンライン形式を用いて開催しました。当委員会は帝京大学文化財研究所、鉱山史や地質などの各分野の先生方に湯之奥金山遺跡調査について指導・助言をいただくものです。今回は先の茅小屋金山遺跡で実施した発掘調査の振り返りと、今年度の調査の方向性についてご審議いただきました。

■ 調査研究活動02 5/19㊥ 生野銀山(兵庫県)スラグ調査

兵庫県朝来市の生野銀山跡において、床屋遺構が見つかり、そこから大量のスラグ(=鉱滓)が発見されました。18世紀以降の資料は豊富に残るものの、16世紀後半～17世紀前半の本来の最盛期状況を伝える資料が乏しい生野銀山にとって、これらのスラグは重要な意味を持ちます。日本鉱業史研究会有志らと初の検証を試みました。ハンディ型の蛍光エックス線分析装置をスラグに当て、製錬目的の対象金属の特定や、化学分析のための試料採取の助けとなる成分分析など行いました。銀だけでなく銅が重要になる生産に関わる技術的変化の実態を解き明かすための重要なカギとなるものです。



■ 調査研究活動03 5/23㊥ 茅小屋金山遺跡発掘調査最前線！成果公開



3月に行われた茅小屋金山遺跡の発掘調査について、各テラス・石造物の写真実測の成果を公開するタッチディスプレイの展示公開が始まりました。帝京大学文化財研究所の金井拓人先生のご協力により実現したもので、ディスプレイ上でテラスや石造物を全方向から3Dで見ることができます。先立って写真や動画で情報公開していましたが、これにより地中に残った黄土色の汰りかす(=鉱石粉碎後、金分を汰りわけた後の滓)の堆積状況や石塔の碑文など写真より細部までみることができ、ご覧のみなさまに臨場感ある形で公開できます。本ディスプレイは当館1階エントランスにてご覧いただけます。ご来館の際にはぜひタッチしたりスクロールしたりして、茅小屋金山遺跡のようすに触れてください。

■ 活動報告01 3/28㊥ 総有料入館者数54万人を達成！

例年より一週間ほど桜の開花宣言が発された今年の春、当館では有料入館者54万人目のお客様をお迎えできました。「砂金採り体験にもう一度チャレンジ！」と受付カウンターに来てくださった小学生の2人兄弟とその両親の4人家族に、この幸運が巡りました。チケットの手渡しと同時にベルを鳴らされ驚きのようすでしたが、記念入館者になったことを伝えるとご兄弟が大いに喜んでくださいました。この記念として、信藤館長直筆でご家族のお名前をしたためた西嶋和紙製の記念入館証と博物館オリジナルグッズを贈呈しました。



■ 活動報告02 4/25㊥ 開館29周年記念 茅小屋金山遺跡ギャラリートーク

開館記念日に合わせ、茅小屋金山遺跡での発掘調査に関するギャラリートークを当館多目的ホールで実施しました。調査のようすを収めた写真や遺跡地図、遺跡から下ろしてきた鉱山白を展示するとともに、現地で見つかった石造物をテーマに信藤館長が解説しました。町民を中心に聴講者が集まり、3月の現地説明会に参加の方も再度足を運んでくださいました。



■ 活動報告03 校外学習のご利用続々！

連日にぎわいをみせたゴールデンウィークを終え、本格的に校外学習での利用が始まりました。この時期は中学校による県内めぐりでのご利用が多く、生徒たちは展示室で映像やジオラマ、甲州金などの実物資料を通して山金の歴史を学びつつ、砂金採り体験で鉱山作業のひとつ「汰りわけ」を実体験し、学びを深めていました。



■ もーん父さんトピックス

☆4/5㊥ 第45回大法師さくら祭り

日本のさくら名所100選に選出されている大法師公園(富士川町)で開催されたさくらまつりに、当館のもーん父さんが招待されました。今年は例年より1週間ほど早く開花したため、満開を超え若葉と桜の共演でしたが、来場者との写真撮影やステージタイムを通して博物館をPRできました。

☆4/6㊥ 春の交通安全運動

春の交通安全運動週間にあわせ、町の反射材大使を務めるもーん父さんがJR身延線身延駅前と飯富商興会駐車場で交通安全を呼びかけました。

☆4/25㊥ 開館29周年記念グリーティングイベント もんふぁんグリグリ

開館29周年を記念し、3回目となるもーん父さんのグリーティングイベントを開催。今回はラジオブースをテーマに、全国のファンから届いた質問BOXやキャラクターイベントでの思い出振り返りコーナーなどを通して、参加のみなさんと交流しました。



☆5/17㊥ 「ゆるキャン△」本栖高校文化祭

青空が広がったこの日、旧下部中学校跡で開催された当イベントにお出かけしました。校舎前では、ゆるキャン△のキャラクターしまりんや町マスコットキャラのみのワンと3ショット撮影を行い、前日から校庭でのキャンプを楽しんだ方やお出かけ途中で立ち寄った方など多くの方でにぎわいました。

☆5/30㊥ ごほうび浪漫博「ご当地キャラ偏愛サミット」

調布市の東京オーヴァル京王閣で初開催の「ごほうび浪漫博」にて、もーん父さんが博物館をPRしてきました。イベントはご当地キャラ、花と器、レトログッズ、世界のグルメなど7つのブースが開かれ、たくさんの方でにぎわいました。東京都での館外活動は数年ぶりとなり、まだ当館に足を運ぶことがない来場者へ博物館を知ってもらおうよい機会となりました。

砂金掘り大会2026開催のお知らせ



砂金掘り大会



砂金甲子園

◀ 昨年度大会のようすは
当館公式YouTubeにて

7/25(土) 第26回 砂金掘り大会(一般大会)

【場 所】 湯之奥金山博物館 専用駐車場

【定 員】 全部門合わせて 200 名 ※定員になり次第受付終了

【種 目】 ジュニア部門 (小中学生) 6kg・10分
男女一般部門 予選① U40 (高校生から 40 歳までの男女) 10kg・10分
予選② アダルト (41 歳以上の男女) 10kg・10分
→ 予選①、②の各上位 1 割 + α による決勝戦 16kg・15分
※自己申告式なので、とくに申し出がない場合は「予選①U40」への
エントリーとなります

【日 程】 9:30 ~ 受付
10:00 ~ 開会式 (トロフィー返還・ルール説明 ほか)
10:25 ~ 競技開始 (ジュニア部門・U40・アダルト、予選→決勝)
15:30 全てのプログラム終了予定

【参加費】 1,000円/ 1人
※ 選手の熱中症対策に充てさせていただきます。競砂金の持ち帰りは不可

【申 込】 メールのみ yunoking@town.minobu.lg.jp へ

★お申込みにあたって★

- ・メールの件名に「砂金掘り大会2026 申込」と記載する
- ・住所、氏名(読み方)、学年または年齢、参加部門、開催日まで連絡が取れる連絡先を明記する
- ・複数人まとめて申込する場合は、代表者が全員分の情報をまとめて送信する



7/26(日) 第23回 砂金甲子園! 東西中高交流砂金掘り大会(学校大会)

全国から砂金掘りに熱い思いを持った中高生が集結! 学校大会はチームによるバケツリレー方式の団体戦と各校の選抜による個人戦の結果により順位が決まります。
2026年大会を制するのはどの学校か? 中高生の奮闘から目が離せない!

【場 所】 湯之奥金山博物館 専用駐車場

【募集校】 最大 12 校 ※ 12 校を超えた場合は団体戦を予選とします

【種 目】 団体戦 最大 15 人までエントリー可能
個人戦 各校の代表 5 人 (先鋒・次鋒・中堅・副将・大将)
→ 団体戦・個人戦の合計獲得点数により成績決定

【日 程】 8:30 ~ 受付
9:00 ~ 開会式 (優勝旗返還・ルール説明 ほか)
9:30 ~ 競技開始 (団体戦・個人戦)
13:00 全てのプログラム終了予定

【参加費】 5,000円 / 1校 (砂金掘り大会・砂金甲子園両日参加 8,000円 / 1校)
※ 選手の熱中症対策に充てさせていただきます。競砂金の持ち帰りは不可

【参加資格】

- ・学校単位で参加すること ・学校名を出して参加できること
- ・部活動顧問及び教員が引率すること (自主的校外活動における生徒有志の場合はその限りでない)
- ・競技者が最小 6 人、最大 20 人までであること
- ・参加メンバー全員が博物館公式YouTubeの「砂金甲子園解説動画(2022-2023年度版)」を見て、基本的なルールを理解していること

【申 込】 メールのみ yunoking@town.minobu.lg.jp へ

★お申込みにあたって★

- ・メールの件名に「砂金掘り大会2026 申込」と記載する
- ・学校名(正式名称)、参加人数(中高生内訳・引率教員数)、開催日まで連絡が取れる代表者とその連絡先を含め送信する



2026年6月～9月のご利用案内



当館の開館時間は午前9時～午後5時まで(最終受付は午後4時30分)ですが、7月25日(土)・26日(日)はイベント開催のため、**開館時間延長(午前9時～午後6時まで/最終受付は午後5時30分)**となります。どなたさまも開館日・開館時間ともにお間違えのないようご来館ください。

6月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

7月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25★
26○★	27	28	29	30	31	

8月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

9月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

<凡例>

- : 休館日(定期・振替・年末年始)
- ★ : 開館時間延長日
- : イベント実施日

編 | 集 | 後 | 記

多くのお客様に惜しまれながらも終了した「しもべ黄金の足湯」。その後の活用について長らく検討してきた結果、このたび博物館や下部リバーサイドパークご利用のお客様の休憩スペース(東屋)としてリフォームすることとなりました。休憩用としてご利用しやすいよう浴槽部分は取り除き、フラットなスペースに生まれ変わる予定です。工事実施に伴い、博物館専用駐車場の一部がご利用いただけないタイミングもあります。ご利用のみなさまにはご不便をおかけいたしますが、ご理解・ご協力をお願いいたします。完成の際にはぜひゆりとおくつろぎください。(編集K&I)



甲斐黄金村・
湯之奥金山博物館だより

第115号
令和8(2026)年6月1日

発行 甲斐黄金村・湯之奥金山博物館
〒409-2947 山梨県南巨摩郡身延町上之平1787番地先
TEL 0556-36-0015 FAX 0556-36-0003
博物館HP▶<https://www.town.minobu.lg.jp/site/kinzan/>
E-mail▶yunoking@town.minobu.lg.jp もーん父さん▶X & Facebook

